

～地域ごとに魅力があり、持続的な都市活動を支える エコ・コンパクトな都市をつくる～

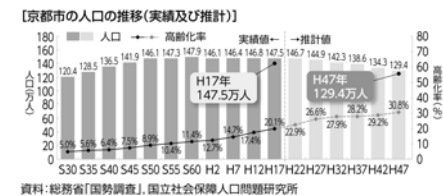
基本方針

人口の減少や少子高齢化、低炭素社会実現への対応などの社会動向を見通しながら、これまで進めてきた「保全・再生・創造」の都市づくりを基調として、地球環境への負荷の少ない集約的な都市機能の配置や、地域ごとの特性を生かすための多彩で個性的な土地利用の展開を図れるよう、都市を効率的に経営する視点を持ちながら、さまざまな都市活動を持続的に展開することのできる都市を実現する。

現状・課題

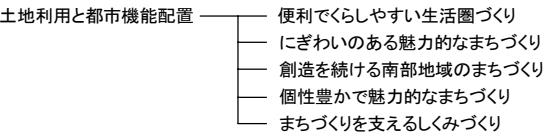
- 今後、人口減少等に伴う税収の減少、高齢化の進展に伴う社会福祉費の増大等により、都市への投資的経費が減少していくことが予想され、拡大・成長から、安定・成熟を前提とした都市づくりへの転換が求められている。
- 今後の都市づくりに当たっては、行政が主体の取組について戦略的かつ計画的な展開が一層求められるとともに、既存の都市基盤を将来に負担を強いることなく引き継ぐ視点も必要である。さらに、住民、企業、NPO等の各主体がより質の高い活動を実践できる環境整備が求められている。
- これまでから市民の自治意識が高く、近年、景観・環境・まちづくりに対する関心・機運がさらに高まってきている。一方、住環境の変化等により地域住民同士のコミュニケーションの取りにくさや、市民ニーズが多様化するなかで合意形成に時間を要する等の課題もある。
- 21世紀の京都の新たな活力を担う創造のまちづくりを進める南部地域では、幹線道路等の都市基盤整備や産業集積において一定の進捗が見られる。一方で、まとまりのない景観や緑化の不足など、都市環境という視点から見て課題がある。また、相対的に高い地価等から企業にとって立地するインセンティブ（動機付け）が十分でない状況がある。

◆京都市の人口の減少、高齢化の進展



推進施策

施策の体系



1 便利でくらしやすい生活圏づくり

誰もが、自動車に過度に頼ることなく、徒歩や公共交通などにより、医療、教育、行政、買物などの日常サービスが享受できる、便利でくらしやすい生活圏の形成を目指す。そのため、周辺居住環境との調和に配慮しつつ、鉄道駅などの交通拠点の周辺に集客施設を集積させるなど、公共交通ネットワークと一体となった都市機能の配置や市街地環境の整備を実現し、地域特性に応じた効果的な土地利用が図れるよう、様々な施策推進の連携を図る。

2 にぎわいのある魅力的なまちづくり

京都駅周辺や田の字地域などの都心部においては、広域的な商業・業務機能を一層集積させるため、鉄道駅などの交通拠点の周辺や、それにつながる幹線道路沿道における土地利用を都市計画手法などを活用して適切に誘導するとともに、事業者による主体的なにぎわい創出の取組を支援し、商業振興施策や観光振興施策とも連携を図りながら、にぎわいのある魅力的な地域の実現を目指す。

3 創造を続ける南部地域のまちづくり

京都の新たな活力を担う地域を目指すらくなん進都をはじめとする南部地域においては、創造的な活動を支える快適かつ魅力ある都市環境を形成するため、公共交通網の充実や緑化の促進、環境負荷の軽減に資する取組等を推進する。また、最先端のものづくり企業の本社・研究開発・生産機能等の集積を更に進めるため、積極的な企業誘致の取組を展開するとともに、まちづくりを持続的かつ効果的に進めるために、住民、企業、大学、行政等の多様な主体による交流及び連携を促進する。

4 個性豊かで魅力的なまちづくり

岡崎地域における文化・交流ゾーンとしての機能の向上や、山ノ内地域における民間活力の導入による新たな機能創出を図る拠点づくりを進めるなど、都市計画手法の活用を含め多様な施策を総合的に推進し、市域のさまざまな地域において個性豊かで魅力的なまちづくりを進める。

5 まちづくりを支えるしくみづくり

市民・事業者自身がまちづくりに積極的にかかわり、市民が主体的に参加できる取組を進めるなど、さまざまな地域でそれぞれの地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、まちづくり活動の支援やしきみづくりを推進していく。また、住民、事業者、行政のパートナーシップで取り組むまちづくりの橋渡し役である(財)京都市景観・まちづくりセンターと連携し、まちづくりにかかわる人材の育成や情報発信・相談事業、まちづくり活動支援事業等により、地域のまちづくりを促進する。

関連する分野別計

京都市都市計画マスタープラン（平成14年5月～平成37年）
職住共存地区整備ガイドプラン（平成10年4月～）
新・京都市南部創造まちづくり推進プラン（平成18年度～平成27年度）
らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム（平成21年度～平成30年度）
京都駅南口周辺地区まちづくり指針（平成13年10月）